
- ダイキン「第8回 現代人の空気感調査」 -
総合報告書

**わが家のウォームビズと冬の空気環境
に関する調査結果**

平成18年1月

ダイキン工業株式会社 広報部

<目次>

・調査概要	1
1．調査目的	2
2．調査の実施要領	2
3．回答者の基本属性	4
・調査結果	5
〔1〕わが家の空気環境	6
1．冬に家の空気環境で困っていること	6
2．家族が集まる部屋で使っている主要暖房器具	8
3．冬に使っている空調機器	10
〔2〕家庭で行うウォームビズ	12
1．昨年までの冬の部屋の設定温度	12
2．今年家庭でのウォームビズの実践度	14
3．家庭でのウォームビズの実践内容	16
4．家庭でのウォームビズを実践していない理由	20
5．環境省推奨の設定室温の認知	23
6．家庭でのウォームビズが生活に及ぼす影響	25
7．ウォームビズが生活に及ぼす影響の内容	27
8．家庭でのウォームビズの実践意向	31
〔3〕子どもの厚着・薄着	33
1．子どもは厚着か薄着か	33
2．子どもの薄着教育に対する賛否	35
3．子どもの薄着教育に賛成の理由と反対の理由	37
〔4〕主婦の立場で見るオフィスのウォームビズ	41
1．オフィスでのウォームビズ実践度	41
2．オフィスでウォームビズを実践していない理由	43
3．主婦の立場からのオフィスでのウォームビズの賛否	45
4．主婦の立場からのオフィスのウォームビズに対する見方	47
5．オフィスのウォームビズ関連で購入したもの・購入予定のものの有無	49
6．オフィスのウォームビズ関連で購入したもの・購入する予定のもの	51

. 調査概要

1. 調査目的

ダイキン工業では、“空気”にこだわり、また空調の技術を進化させてきた空調のトップメーカーとして、日頃あまり意識されてこなかった“空気”について、もっと多くの方々に関心を持っていただきたいと考え、2002年から“空気”に関する現代人の意識を探るための「現代人の空気感調査」を実施してきました。

8回目となる今回の調査は、地球温暖化防止のために環境省が推奨している“暖房に頼りすぎず冬のオフィスを快適に過ごすビジネススタイル「ウォームビズ」”という運動が、ビジネスシーンだけにとどまらず、家庭にまで浸透しているのではないかと考え、全国の主婦 1,400 名を対象に家庭内における冬の空気環境とウォームビズへの取り組みについて、アンケートを実施しました。

2. 調査の実施要領

(1) 調査対象及びサンプル数：全国の20代から50代の主婦、1,400人

< サンプル配分 >

	合計	20代	30代	40代	50代
合計	1,400	350	350	350	350
北海道・東北	200	50	50	50	50
関東	200	50	50	50	50
甲信越・北陸	200	50	50	50	50
東海	200	50	50	50	50
近畿	200	50	50	50	50
中国・四国	200	50	50	50	50
九州・沖縄	200	50	50	50	50

北海道・東北：北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東：茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県

甲信越・北陸：山梨県・長野県・新潟県・富山県・石川県・福井県

東海：岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿：滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国・四国：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

(2) 調査方法：Web 調査

(3) 調査時期：2005年12月9日～12月12日

(4) 調査項目

◆わが家の空気環境

- ・冬に家の空気環境で困っていること
- ・家庭で使っている主要な暖房器具及び空調機器

◆家庭で行う“ウォームビズ”

- ・今年の冬は家庭でのウォームビズを意識して実践するようになったか
実践している場合は、部屋の設定温度や室温を下げた寒さ対策として行っていること
実践しない場合は、その理由
- ・環境省が推奨しているオフィスの設定温度の認知状況
- ・家庭でのウォームビズが生活に及ぼす影響の内容
- ・今後家庭でウォームビズを実践する意向があるか

◆子どもの厚着・薄着

- ・子どもを厚着で育てているか、薄着で育てているか
- ・子どもの薄着教育に対する賛否

◆主婦の立場で見る“ウォームビズ”

- ・夫のオフィスでのウォームビズ実践状況
- ・オフィスでウォームビズを実施しない理由
- ・主婦の立場からオフィスのウォームビズをどう見ているか
- ・ウォームビズ関連で購入したものや購入する予定のもの
回答者の基本属性
- ・居住都市（東京都または政令指定都市、それ以外）
政令指定都市：札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・川崎市・横浜市・静岡市・
名古屋市・京都市・大阪市・神戸市・広島市・北九州市・福岡市
- ・職業（正規有業主婦、非正規有業主婦、専業主婦）
- ・家族構成（夫婦のみ、夫婦と子ども、三世代同居）
- ・寒さに強い方か
- ・住居形態（持ち家、借家／一戸建て、鉄筋集合住宅、木造集合住宅）

3. 回答者の基本属性

<居住都市>

東京都または 政令指定都市	その他
352 25.1%	1048 74.9%

<職業の有無>

正規有業主婦	非正規 有業主婦	専業主婦
196 14.0%	369 26.4%	835 59.6%

<家族構成>

夫婦のみ	夫婦と子ども	三世帯同居	その他
303 21.6%	809 57.8%	188 13.4%	100 7.1%

<子どもの年齢(複数の子どもがいる場合は末子)>子どもがいる人のみ N=997

乳幼児	小学生	中高生	大学生・社会人
463 46.4%	170 17.1%	169 17.0%	195 19.6%

<寒さに強い方か>

寒さに強い方	寒さに弱い方
441 31.5%	959 68.5%

<住居形態>

持ち家・ 一戸建て	借家・ 一戸建て	持ち家・ 鉄筋集合住宅	賃貸・ 鉄筋集合住宅	賃貸・ 木造集合住宅
684 48.9%	84 6.0%	190 13.6%	353 25.2%	89 6.4%

. 調査結果

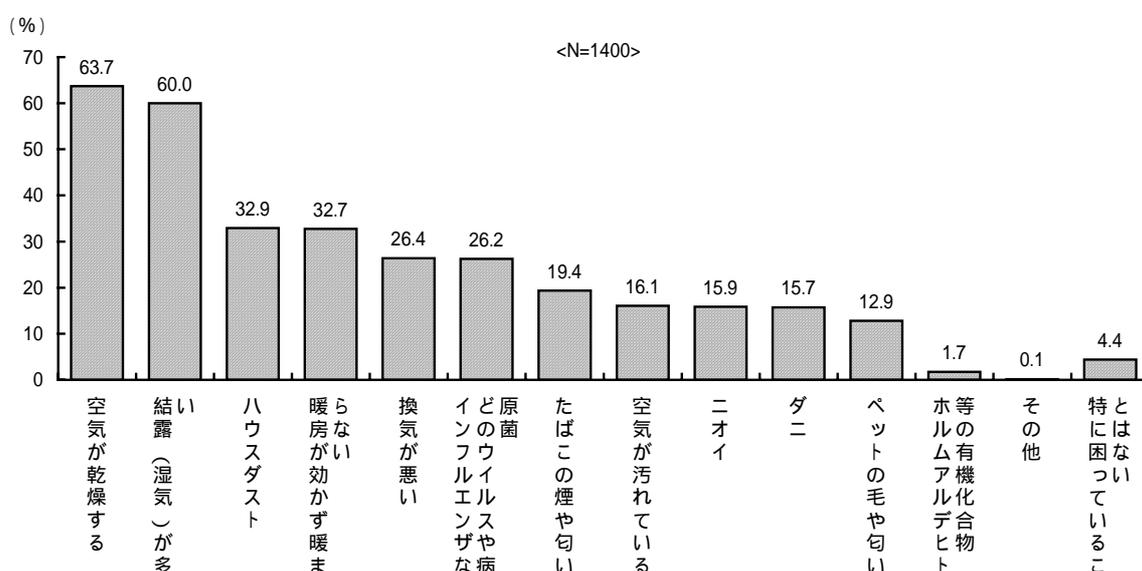
(1) わが家の空気環境

1. 冬に家の空気環境で困っていること

「空気が乾燥する」(63.7%)と「結露(湿気)が多い」(60.0%)の2項目が突出。以下「ハウスダスト」(32.9%)、「暖房が利かず暖まらない」(32.7%)など。「困っていることはない」は僅か4.4%。

【甲信越・北陸】は「結露(湿気)が多い」(69.0%)が他の地域より多い反面、「空気が乾燥する」(46.0%)や「空気が汚れている」(9.5%)は少ない。

図1 - 1. 冬に家の空気環境で困っていること【複数回答】



冬に部屋の空気環境で困っていることがあるのか、あるとすればどのようなことで困っているのかを聞いてみました。

「特に困っていることはない」との回答は僅か4.4%に過ぎず、大半は冬の部屋の空気環境で困っていることがあるという実態が明らかになりました。

困っていることで最も多いのは「空気が乾燥する」(63.7%)で、わずかの差で「結露(湿気)が多い」(60.0%)が続いています。この2項目が突出しており、以下「ハウスダスト」(32.9%)、「暖房が利かず暖まらない」(32.7%)、「換気が悪い」(26.4%)、「インフルエンザなどのウイルスや病原菌」(26.2%)などがあげられています。

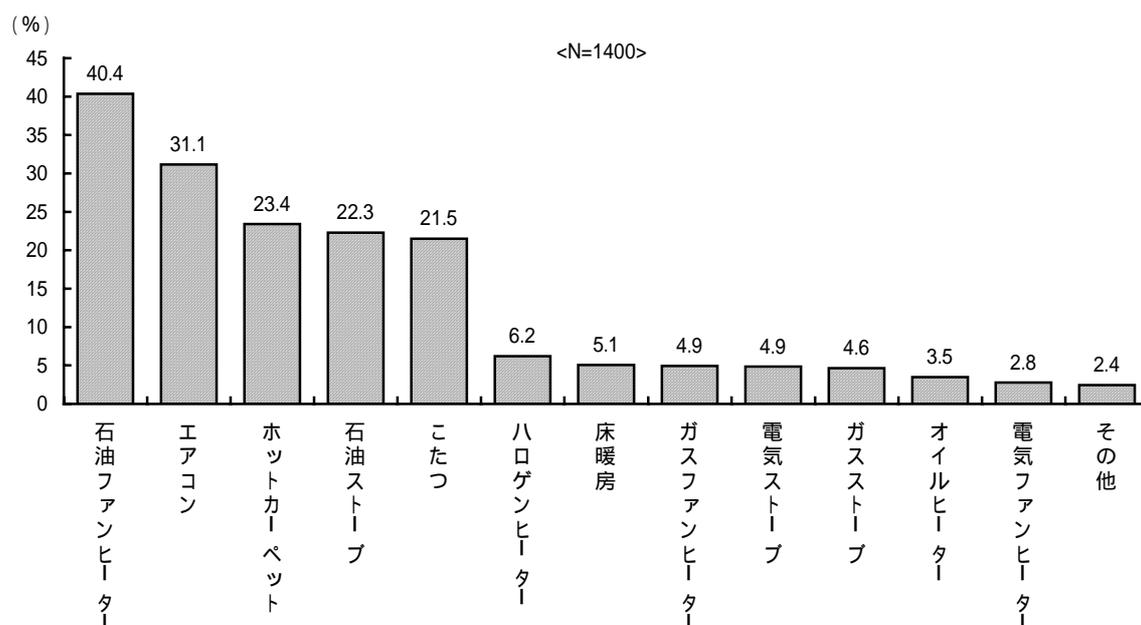
	サンプル数	空気が乾燥する	結露(湿気)が多い	ハウスダスト	暖房が効かず暖まらない	換気が悪い	のインフルエンザや病原菌	たばこの煙や匂い	空気が汚れている	ニオイ	ダニ	ペットの毛や匂い	ホルムアルデヒド等	その他	特には困っていること
【地域】北海道・東北	200	76.0	56.0	38.0	28.0	26.5	28.5	19.0	16.5	8.5	18.0	15.5	1.0	-	2.0
関東	200	69.0	62.5	32.0	30.5	28.0	27.5	19.0	19.0	21.0	15.0	13.0	3.5	-	5.5
甲信越・北陸	200	46.0	69.0	27.0	37.0	22.5	24.5	19.0	9.5	13.0	15.0	12.5	1.5	-	5.5
東海	200	62.5	58.5	33.0	32.5	26.0	25.5	15.0	20.0	16.5	16.5	15.5	2.5	1.0	6.0
近畿	200	65.0	54.0	33.0	29.0	28.5	28.0	26.0	19.5	14.0	13.5	11.0	0.5	-	6.0
中国・四国	200	61.5	64.0	36.0	38.0	28.0	24.5	21.0	15.5	21.0	17.5	9.5	2.0	-	3.0
九州	200	66.0	56.0	31.5	34.0	25.0	25.0	16.5	12.5	17.0	14.5	13.0	1.0	-	2.5
【都市規模】東京都・政令指定都市	352	69.3	54.3	38.9	27.8	27.3	27.3	20.7	17.6	17.6	15.6	10.5	1.1	-	4.0
その他	1048	61.8	61.9	30.9	34.4	26.0	25.9	18.9	15.6	15.3	15.7	13.6	1.9	0.2	4.5
【家族構成】夫婦のみ	303	63.7	53.8	27.1	36.3	24.4	20.1	20.1	13.5	12.9	15.2	14.2	2.3	0.3	5.9
夫婦と子供	809	64.8	64.8	35.8	32.1	28.7	28.9	18.0	18.2	17.2	15.9	10.5	1.4	0.1	3.1
3世代同居	188	65.4	58.0	33.5	31.9	18.6	30.9	22.9	12.2	15.4	17.0	18.6	2.1	-	4.8
その他	100	52.0	44.0	26.0	28.0	28.0	14.0	21.0	14.0	15.0	13.0	17.0	2.0	-	9.0
【中学生以下の子供】いる	722	70.1	66.2	37.1	33.9	30.6	35.9	17.7	18.0	17.3	17.9	10.1	1.5	0.1	2.2
いない	678	56.9	53.4	28.5	31.4	21.8	15.9	21.1	14.0	14.3	13.4	15.8	1.9	0.1	6.6
【住宅構造】一戸建て	768	59.9	52.9	28.0	35.2	20.3	23.6	20.8	13.2	15.4	13.9	17.4	1.3	0.1	5.9
鉄筋集合住宅	543	69.1	66.3	39.0	28.5	33.0	29.1	18.8	19.3	16.9	17.9	7.2	2.2	-	2.8
木造集合住宅	89	64.0	83.1	38.2	37.1	38.2	31.5	10.1	21.3	13.5	18.0	7.9	2.2	1.1	1.1

- 地域別に見ると、【甲信越・北陸】は「結露(湿気)が多い」(69.0%)が他の地域を上回っている一方で、「空気が乾燥する」(46.0%)が他の地域ほど多くありません。また、「空気が汚れている」(9.5%)も他の地域に比べて少なくなっています。【北海道・東北】は「暖房が利かず暖まらない」(28.0%)が他の地域を下回っています。
- 都市規模別に見ると、【それ以外の都市】は「結露(湿気)が多い」(61.9%)、「暖房が利かず暖まらない」(34.4%)が【東京都・政令指定都市】(54.3%、27.8%)を上回っています。一方、【東京都・政令指定都市】は「ハウスダスト」(38.9%)が【それ以外の都市】(30.9%)を上回っています。
- 家族構成別に見ると、【夫婦と子ども】と【3世代同居】は「ハウスダスト」(35.8%、33.5%)、「インフルエンザなどのウイルスや病原菌」(28.9%、30.9%)が【夫婦のみ】や【その他】を上回っています。
- 中学生以下の子どもの有無別に見ると、【いる人】は「空気が乾燥する」(70.1%)、「結露(湿気)が多い」(66.2%)、「ハウスダスト」(37.1%)、「インフルエンザなどのウイルスや病原菌」(35.9%)、「換気が悪い」(30.6%)など多くの項目で【いない人】を上回っています。
- 住宅構造別に見ると、【木造集合住宅】は「結露(湿気)が多い」(83.1%)が【一戸建て】(52.9%)や【鉄筋集合住宅】(66.3%)を大きく上回っています。そのほか、「換気が悪い」(38.2%)、「暖房が利かず暖まらない」(37.1%)なども上回っています。

2. 家族が集まる部屋で使っている主要暖房器具

「石油ファンヒーター」(40.4%)が最も多く、次いで「エアコン」(31.1%)の順。
“都市部”で、高い普及率の「エアコン」(42.4%)
北海道・東北など雪の多い地方では、未だに根強い人気の「石油ファンヒーター」(53.0%)、
「石油ストーブ」(44.0%)

図1 - 2. 居間などの家族が集まる部屋で使っている主要な暖房器具【2つまで】



居間など日頃家族が集まる部屋では、暖房器具として主に何を使っているのかをあげてもらいました。

最も多いのは「石油ファンヒーター」(40.4%)で、次いで「エアコン」(31.1%)の順となっています。以下「ホットカーペット」(23.4%)、「石油ストーブ」(22.3%)、「こたつ」(21.5%)が続いていますが、そのほかはいずれもさほど多くありません。

	サンプル数	石油ファンヒーター	エアコン	ホットカーペット	石油ストーブ	こたつ	ハロゲンヒーター	床暖房	電気ストーブ	ガスファンヒーター	ガスストーブ	オイルヒーター	電気ファンヒーター	その他
【地域】北海道・東北	200	38.0	7.0	12.0	44.0	17.5	4.5	5.5	4.0	4.5	5.0	3.0	0.5	9.5
関東	200	30.5	42.5	26.5	11.5	20.0	6.0	9.5	4.0	8.5	4.5	3.5	5.5	-
甲信越・北陸	200	53.0	23.5	25.5	21.0	27.5	3.5	3.5	2.5	3.0	2.0	4.5	2.0	5.5
東海	200	43.5	37.0	24.5	22.0	13.0	6.0	5.0	4.0	3.0	6.5	6.0	4.5	0.5
近畿	200	31.0	30.5	24.0	15.0	26.5	8.0	8.0	11.0	11.5	9.5	2.5	3.5	-
中国・四国	200	45.0	37.0	24.0	23.5	22.5	8.5	2.5	4.0	2.5	2.0	2.0	1.5	0.5
九州	200	41.5	40.5	27.5	19.0	23.5	7.0	1.5	4.5	1.5	3.0	3.0	2.0	1.0
【都市規模】東京都・政令指定都市	352	28.4	37.5	25.9	16.8	17.0	7.1	7.4	7.1	9.1	6.0	4.8	4.3	2.0
その他	1048	44.4	29.0	22.6	24.1	23.0	5.9	4.3	4.1	3.5	4.2	3.1	2.3	2.6
*札幌を除く東京都・政令指定都市	309	28.2	42.4	27.8	14.2	18.4	6.8	8.1	7.1	8.7	5.5	4.9	4.5	1.0
【家族構成】夫婦のみ	303	34.7	30.4	19.5	24.4	25.7	7.3	6.6	6.3	5.0	3.6	4.0	4.0	1.0
夫婦と子供	809	40.4	32.4	24.5	20.0	20.4	6.6	6.1	3.7	4.9	4.8	3.7	2.6	3.2
3世代同居	188	48.9	25.0	25.0	26.6	22.3	4.3	1.1	5.3	3.7	5.3	2.7	2.1	2.1
その他	100	41.0	35.0	24.0	26.0	16.0	4.0	-	9.0	7.0	5.0	2.0	2.0	1.0
【中学生以下の子供】いる	722	41.7	31.3	27.6	20.8	19.0	6.1	4.8	3.9	3.9	4.7	3.9	2.5	3.0
いない	678	38.9	31.0	19.0	23.9	24.2	6.3	5.3	5.9	6.0	4.6	3.1	3.1	1.8

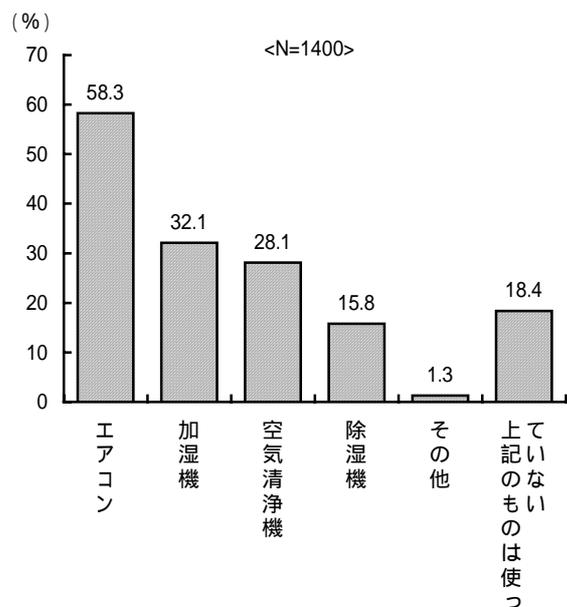
- 地域別に見ると、【甲信越・北陸】は「石油ファンヒーター」(53.0%)がとりわけ多く占め、【北海道・東北】は「石油ストーブ」(44.0%)が最も多く、その割合は他の地域を大きく上回っています。一方、【関東】は「エアコン」(42.5%)が最も多くなっています。なお、【北海道・東北】は「エアコン」(7.0%)が他の地域に比べて極端に少なくなっています。
- 都市規模別に見ると、【東京都・政令指定都市】は「エアコン」(37.5%)が最も多く、なかでも【札幌市を除く東京都・政令指定都市】ではとりわけ「エアコン」(42.4%)が多いのに対して、【それ以外の都市】は「石油ファンヒーター」(44.4%)が最も多くなっています。そのほか「石油ストーブ」(24.1%)や「こたつ」(23.0%)なども【東京都・政令指定都市】を上回っています。
 以上のように、都市部はエアコン、ホットカーペット、床暖房等の火を使用しない暖房器具が多いのに対して、雪の多い地方は石油ファンヒーター、石油ストーブ、こたつ等の火を使用する暖房器具が多くなっています。これは単に地域特性、文化の違いというだけでなく、現在販売されているエアコンが、寒い地域でも十分な暖房能力が発揮できることが認知されていないことも大きな要因の一つだと考えられます。また、都市部では火事を避けるために、石油ストーブなどの火を使う暖房器具の使用が禁止されていることや、その代わりに住居にエアコンなどが設置されている場合が多いことも大きな要因になっていると考えられます。
- 家族構成別に見ると、【3世代同居】は「石油ファンヒーター」(48.9%)が他の層より多い反面、「エアコン」(25.0%)は他の層を下回っています。
- 中学生以下の子どもの有無別に見ると、【いる家庭】は「ホットカーペット」(27.6%)が【いない家庭】(19.0%)を僅かに上回っています。

3. 冬に使っている空調機器

「エアコン」(58.3%)は半数以上が使用。以下、空調機器使用率は「加湿機」(32.1%)、「空気清浄機」(28.1%)、「除湿機」(15.8%)の順。

【北海道・東北】は「エアコン」(18.5%)の使用率が極端に低い。

図1 - 3. 冬に使っている空調機器【複数回答】



また、冬の期間どのような空調機器を使っているかについても聞きました。

「エアコン」(58.3%)は半数以上が使っているということであり、家庭での最も使用率の高い空調機器となっています。また、「加湿機」(32.1%)と「空気清浄機」(28.1%)は3割前後の使用率となっていますが、「除湿機」(15.8%)は1割強にとどまっています。

なお、「これらのものは使っていない」との回答は18.4%であり、8割以上の家庭は何らかの空調機器を使用しているということです。

	サンプル数	エアコン	加湿機	空気清浄機	除湿機	その他	上ていないものを使っ
【地域】北海道・東北	200	18.5	36.0	29.5	22.0	0.5	27.0
関 東	200	68.0	38.5	28.0	5.5	2.5	15.0
甲信越・北陸	200	52.0	23.5	22.5	37.0	1.5	18.5
東 海	200	66.0	37.0	32.5	9.0	2.5	17.0
近 畿	200	62.5	32.0	28.0	10.5	0.5	18.5
中国・四国	200	71.0	32.0	27.5	12.0	0.5	16.5
九 州	200	70.0	25.5	28.5	14.5	1.0	16.0
【都市規模】東京都・政令指定都市	352	62.2	36.6	29.3	11.1	1.7	17.0
その他	1048	57.0	30.5	27.7	17.4	1.1	18.8
【家族構成】夫婦のみ	303	57.8	25.4	24.4	13.2	0.7	21.8
夫婦と子供	809	57.6	34.4	29.5	16.9	1.9	17.4
3世代同居	188	58.5	39.9	30.3	16.5	0.5	15.4
その他	100	65.0	19.0	23.0	13.0	-	21.0
【中学生以下の子供】い る	722	55.7	40.6	30.5	17.3	1.5	16.5
いない	678	61.1	23.0	25.5	14.2	1.0	20.4

- 地域別に見ると、「エアコン」はほとんどの地域で半数以上が使用していますが、【北海道・東北】(18.5%)だけは2割に満たなく非常に低い使用率となっています。また、「これらのもは使っていない」(27.0%)が3割弱を占め、空調機器の使用率自体が他の地域を下回っています。一方、【甲信越・北陸】は「除湿機」(37.0%)が他の地域を大きく上回っています。この結果は先に検証した<家の空気環境で困っていること>で【甲信越・北陸】に「結露(湿気)が多い」が多かったことを裏付けています。
- 都市規模別に見ると、【東京都・政令指定都市】は「エアコン」(62.2%)、「加湿機」(36.6%)が【それ以外の都市】(57.0%、30.5%)を僅かに上回っていますが、さほど大きな差ではありません。
- 家族構成別に見ると、【3世代同居】は「加湿機」(39.9%)が他の層を上回っています。【その他】は「エアコン」(65.0%)が特に多くなっています。
- 中学生以下の子どもの有無別に見ると、「エアコン」は【いない家庭】(61.1%)が【いる家庭】(55.7%)を僅かに上回っていますが、そのほかの機器はいずれも【いる家庭】の方が多く、なかでも「加湿機」(40.6%)は大きな差となっています。「これらのもは使っていない」も【いない家庭】(20.4%)の方が多くなっています。

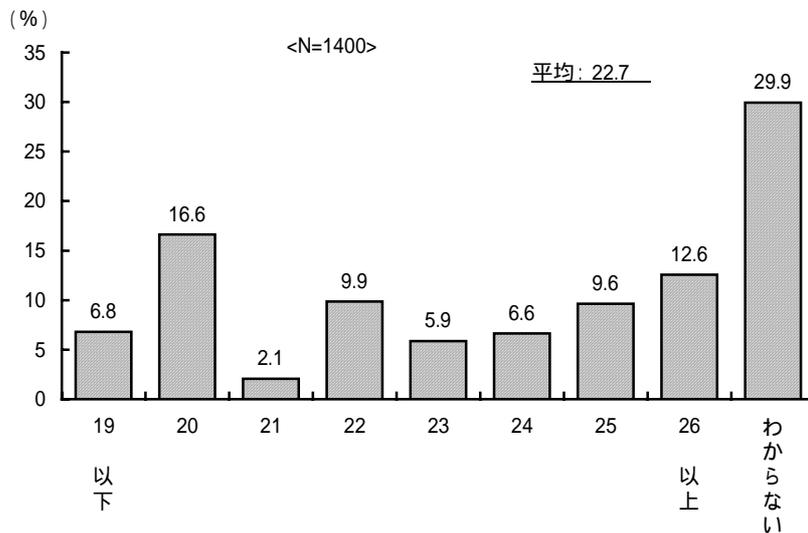
(2) 家庭で行うウォームビズ

地球温暖化防止のために環境省が推奨している“暖房に頼りすぎず冬のオフィスを快適に過ごすビジネススタイル「ウォームビズ」”という運動が、ビジネスシーンだけでなく、家庭にまでどの程度浸透しているのかという視点から、家庭内におけるウォームビズの意識と行動の実態を明らかにしようとしたものです。

1. 昨年までの冬の部屋の設定温度

設定温度でこれまで最も多かったのは「20」(16.6%)で、平均は22.7。
「分からない」(29.9%)は3割で、7割は“部屋の設定温度を従来から意識していた”。

図2 - 1. 昨年まで冬の期間、部屋の温度を何度に設定していたか



この冬はさまざまな場所でウォームビズが言われるようになりましたが、昨年まで各家庭で部屋の温度は何度に設定されていたのでしょうか。

部屋の設定温度が「分からない」(29.9%)と答えた人は3割にとどまり、7割の人が部屋の設定温度を“これまでも室温を意識していた”という結果が示されました。

具体的に設定温度を見ると最も多いのは「20」(16.6%)で、環境省が推奨している設定温度<20>が昨年まででも最も多かったという結果です。次いで多いのが「22」(9.9%)で、「19 以下」(6.8%)も1割弱見られます。その一方で、「26 以上」(12.6%)も1割を超えており少なくありません。

平均は22.7です。

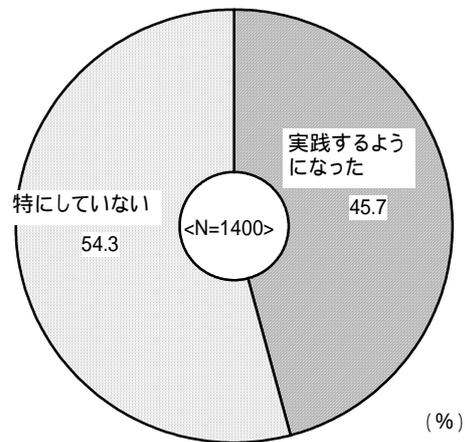
	サ ン プ ル 数	1 9 以 下	2 0	2 1	2 2	2 3	2 4	2 5	2 6 以 上	わ か ら な い	平 均 ()
【地域】北海道・東北	200	7.0	15.5	2.5	15.5	8.5	8.5	11.5	5.5	25.5	22.3
関 東	200	4.5	12.5	3.0	12.5	8.5	6.5	6.5	15.5	30.5	23.1
甲信越・北陸	200	13.0	18.5	2.0	9.5	5.0	8.0	9.5	8.5	26.0	21.9
東 海	200	4.5	20.0	1.0	8.5	5.5	7.5	8.5	15.0	29.5	23.0
近 畿	200	5.0	17.0	3.0	8.0	6.0	4.0	9.5	14.0	33.5	22.8
中国・四国	200	6.5	19.0	1.5	10.5	4.5	6.0	9.5	16.0	26.5	22.8
九 州	200	7.0	14.0	1.5	4.5	3.0	6.0	12.5	13.5	38.0	23.1
【都市規模】東京都・政令指定都市	352	6.3	16.5	3.1	10.8	6.0	5.4	7.4	13.9	30.7	22.7
その他	1048	7.0	16.7	1.7	9.5	5.8	7.1	10.4	12.1	29.7	22.7
【家族構成】夫婦のみ	303	6.3	13.2	2.6	8.6	5.6	5.0	8.9	15.8	34.0	23.1
夫婦と子供	809	7.0	17.9	2.0	10.1	6.1	7.0	9.4	11.4	29.0	22.6
3世代同居	188	8.0	18.1	2.1	10.6	6.9	7.4	11.2	10.6	25.0	22.5
その他	100	4.0	14.0	1.0	10.0	3.0	7.0	11.0	16.0	34.0	23.3
【中学生以下の子供】い る	722	6.5	18.1	1.9	9.6	6.2	6.4	9.6	12.9	28.8	22.7
いない	678	7.1	15.0	2.2	10.2	5.5	6.9	9.7	12.2	31.1	22.7
【寒さへの強さ】強い方	441	7.0	20.6	2.7	10.7	5.0	8.2	7.5	11.1	27.2	22.3
弱い方	959	6.7	14.8	1.8	9.5	6.3	5.9	10.6	13.2	31.2	22.9
【住宅構造】一戸建て	768	8.3	17.2	2.1	10.4	5.6	6.9	9.9	10.2	29.4	22.4
鉄筋集合住宅	543	4.6	15.8	2.2	7.9	5.7	6.6	9.8	16.4	30.9	23.2
木造集合住宅	89	6.7	16.9	1.1	16.9	9.0	4.5	6.7	10.1	28.1	22.4

- 地域別に見ると、【九州・沖縄】は「分からない」(38.0%)が最も多くなっています。他の地域に比べて設定温度に対する意識がやや低いようです。しかし、設定温度自体にはさほど大きな差は見られません。
- そのほかの属性では、大きな違いは見られません。

2. 今年家庭でのウォームビズの実践度

「実践するようになった」(45.7%)は半数弱にとどまり、半数強は「特にしていない」(54.3%)と回答。

図2 - 2. 今年家庭でのウォームビズを実践するようになったか



今年の冬、さまざまな場面でウォームビズが取り上げられるなか、どれくらいで家庭でウォームビズを実践するようになったのでしょうか。

半数近くが「実践するようになった」(45.7%)と答え、半数強は「特にしていない」(54.3%)が半数強となっています。

	サンプル数	実践するようになった	特にしていない
【地域】北海道・東北	200	48.5	51.5
関東	200	44.5	55.5
甲信越・北陸	200	46.0	54.0
東海	200	41.0	59.0
近畿	200	42.0	58.0
中国・四国	200	54.5	45.5
九州	200	43.5	56.5
【都市規模】東京都・政令指定都市	352	45.5	54.5
その他	1048	45.8	54.2
【年代】20代	350	46.9	53.1
30代	350	44.0	56.0
40代	350	42.3	57.7
50代	350	49.7	50.3
【職業】正規有業主婦	196	44.9	55.1
非正規有業主婦	369	45.5	54.5
*有業主婦	565	45.3	54.7
専業主婦	835	46.0	54.0
【家族構成】夫婦のみ	303	47.9	52.1
夫婦と子供	809	45.2	54.8
3世代同居	188	42.6	57.4
その他	100	49.0	51.0
【中学生以下の子供】いる	722	43.2	56.8
いない	678	48.4	51.6
【寒さへの強さ】強い方	441	50.3	49.7
弱い方	959	43.6	56.4
【住宅構造】一戸建て	768	43.6	56.4
鉄筋集合住宅	543	48.8	51.2
木造集合住宅	89	44.9	55.1

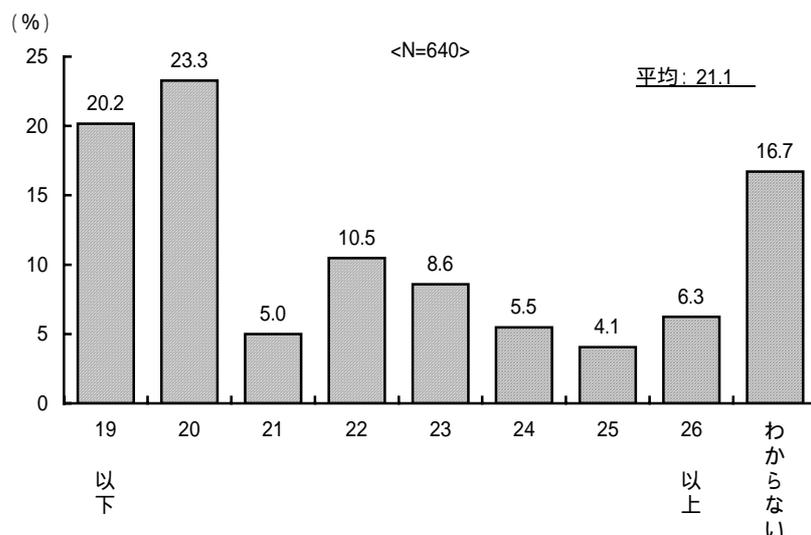
- 地域別に見ると、【中国・四国】は「実践するようになった」(54.5%)が半数を超え「特にしていない」(45.5%)を上回っていますが、そのほかはいずれの属性でもさほど大きな違いは見られません。

3. 家庭でのウォームビズの実践内容

設定温度は「20℃」(23.3%)と「19℃以下」(20.2%)が中心で、平均は21.1℃。昨年までより-1.6℃。
室温を下げた寒さ対策は「上に重ね着をしている」(76.6%)と「下着を重ね着している・厚手のものを着ている」(55.3%)。

(1) 室温の設定温度

図2-3. 室温を何度に設定するようになったか(実践している人のみ)



<ウォームビズを実践するようになった>と回答した人に対し、さらに今年の冬は何度に設定するようになったのか具体的に室温をあげてもらいました。

「20℃」(23.3%)が最も多く、次いで「19℃以下」(20.2%)の順となっています。それ以上の温度はさほど多くありません。平均は21.1℃です。

また、昨年までの設定温度と今冬の設定温度の両方に回答した人(473サンプル)だけで集計した平均温度は21.0℃です。このサンプルの昨年までの設定温度は平均22.6℃ですから、この冬は昨年までに比べて設定温度を平均で1.6℃下げていることになります。

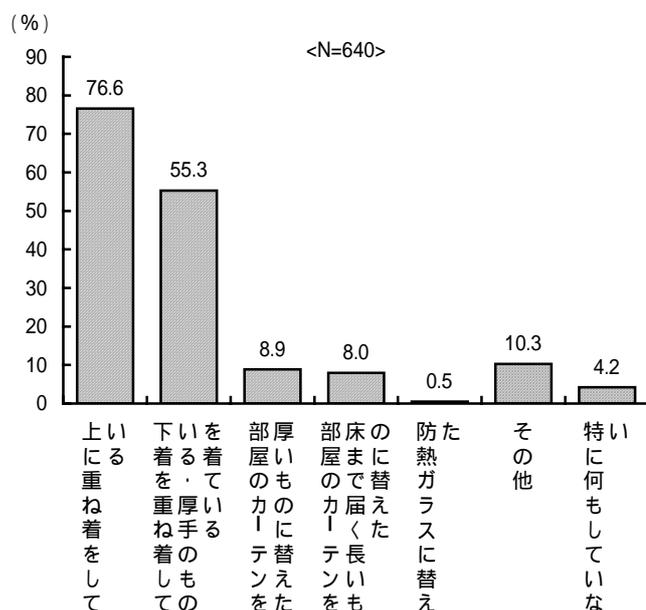
(次ページの表に掲載)

	サンプル数	19以下	20	21	22	23	24	25	26以上	わからない	平均()	両方を答えた人の冬の温度と	
												この冬の設定温度平均	昨年の冬の温度平均
全体	640	20.2	23.3	5.0	10.5	8.6	5.5	4.1	6.3	16.7	21.1	21.0	22.6
【地域】北海道・東北	97	19.6	27.8	6.2	13.4	10.3	-	4.1	2.1	16.5	20.6	20.5	22.5
関東	89	14.6	29.2	4.5	5.6	10.1	4.5	2.2	6.7	22.5	21.2	21.3	22.9
甲信越・北陸	92	32.6	20.7	7.6	6.5	6.5	7.6	3.3	3.3	12.0	20.2	20.4	21.8
東海	82	12.2	17.1	3.7	18.3	7.3	3.7	7.3	11.0	19.5	22.0	21.9	23.4
近畿	84	16.7	20.2	7.1	9.5	10.7	6.0	2.4	9.5	17.9	21.4	21.3	22.7
中国・四国	109	22.0	27.5	2.8	11.9	4.6	6.4	5.5	7.3	11.9	21.2	21.0	22.3
九州	87	21.8	18.4	3.4	8.0	11.5	10.3	3.4	4.6	18.4	21.2	21.1	22.8
【都市規模】東京都・政令指定都市	160	13.8	25.0	3.1	13.8	6.9	5.6	3.8	6.9	21.3	21.4	21.3	22.6
その他	480	22.3	22.7	5.6	9.4	9.2	5.4	4.2	6.0	15.2	21.0	21.0	22.6
【年代】20代	164	17.7	18.3	6.7	9.1	9.8	6.1	4.9	10.4	17.1	21.6	21.5	23.5
30代	154	17.5	31.8	3.9	10.4	9.7	4.5	4.5	4.5	13.0	21.0	20.9	22.4
40代	148	20.3	25.0	4.1	11.5	6.8	4.1	3.4	6.8	18.2	21.0	20.9	22.4
50代	174	24.7	19.0	5.2	10.9	8.0	6.9	3.4	3.4	18.4	20.8	20.8	22.1
【職業】正規有業主婦	88	18.2	20.5	9.1	12.5	8.0	5.7	2.3	11.4	12.5	21.5	21.4	23.2
非正規有業主婦	168	25.0	20.8	4.8	10.7	11.3	4.8	3.6	7.1	11.9	21.0	21.0	22.4
*有業主婦	256	22.7	20.7	6.3	11.3	10.2	5.1	3.1	8.6	12.1	21.2	21.1	22.7
専業主婦	384	18.5	25.0	4.2	9.9	7.6	5.7	4.7	4.7	19.8	21.0	21.0	22.5
【家族構成】夫婦のみ	145	19.3	19.3	7.6	9.0	8.3	7.6	4.1	6.2	18.6	21.2	21.2	22.9
夫婦と子供	366	20.2	25.1	4.9	10.1	9.3	4.9	4.1	5.5	15.8	21.1	21.0	22.4
3世代同居	80	20.0	25.0	2.5	13.8	6.3	3.8	3.8	7.5	17.5	21.0	21.0	22.3
その他	49	22.4	18.4	2.0	12.2	8.2	6.1	4.1	10.2	16.3	21.2	21.3	23.5
【中学生以下の子供】いる	312	20.2	25.3	4.2	9.9	8.7	5.8	4.5	7.1	14.4	21.2	21.1	22.5
いない	328	20.1	21.3	5.8	11.0	8.5	5.2	3.7	5.5	18.9	21.0	21.0	22.6
【寒さへの強さ】強い方	222	20.7	25.2	3.2	10.4	9.9	5.0	4.5	5.0	16.2	21.0	21.0	22.4
弱い方	418	19.9	22.2	6.0	10.5	7.9	5.7	3.8	6.9	17.0	21.1	21.1	22.7
【住宅構造】一戸建て	335	20.9	25.7	3.3	11.6	7.2	5.4	3.9	5.4	16.7	20.9	20.9	22.3
鉄筋集合住宅	265	18.1	20.0	6.8	9.1	10.6	6.4	4.5	6.8	17.7	21.3	21.2	22.9
木造集合住宅	40	27.5	25.0	7.5	10.0	7.5	-	2.5	10.0	10.0	20.9	21.0	22.7

- 地域別に見ると、【甲信越・北陸】は「19以下」(32.6%)がとりわけ多く、他の地域を大きく上回っています。
- 年代別に見ると、【30代】と【40代】は「20」(31.8%、25.0%)が特に多いのに対して、【50代】は「19以下」(24.7%)が最も多くなっています。平均温度は若い人ほど僅かに高めとなっています。
- そのほかの属性別に見ても、大きな差は見られません。

(2)室温を下げた代わりにしている寒さ対策

図2 - 4 . 室温を下げた寒さ対策として行っていること【複数回答】



次に、＜ウォームビズを実践するようになった＞と回答した人に対して、部屋の設定温度を下げた代わりに寒さ対策としてどのようなことを行っているのかについても聞いてみました。

「特に何もしていない」(4.2%)という人はごく僅かで、大半(95.8%)は何らかの対策をとっているということです。

対策のなかで最も多いのは「上に重ね着をしている」(76.6%)で、次いで「下着を重ね着している・厚手のものを着ている」(55.3%)が多くなっています。また、「部屋のカーテンを厚いものに替えた」(8.9%)や「部屋のカーテンを床まで届く長いものに替えた」(8.0%)といった“カーテンの付け替え”などの工夫も少なくありません。

そのほか、「その他」として下記の表に示すとおり、「窓ガラスの断熱シートを貼った」(10件)、「隙間テープを貼った」(5件)、「カーペットの下に保温シートを敷いた」(5件)、「靴下をはいている」(7件)、「雨戸を閉めるようにした」(3件)などさまざまな工夫があげられています。

内容	件数	内容	件数
窓ガラスに断熱シートを貼った	10	雨戸を閉めるようにした	3
隙間テープを貼った	5	カーテンを早いうちから閉めるようにした	1
家の中にカーテンをつけた	2	太陽の光を入れるようにしている	1
二重サッシに替えた	2	こたつを使うようにした	2
カーペットの下に保温シートを敷いた	5	他の電気暖房機に替えた	2
カーペットを暖かいものに替えた	3	湯たんぼ等使用するようにした	1
床に断熱マットを敷いた	2	豆炭コタツを使うようにした	1
靴下をはいている	7	家族が一つの部屋で過ごすようにしている	2
マフラーをしている	1	早く寝るようにしている	2
ひざ掛けを使っている	2	動くようにしている	1
加湿器を購入した	3	体を鍛えている	1

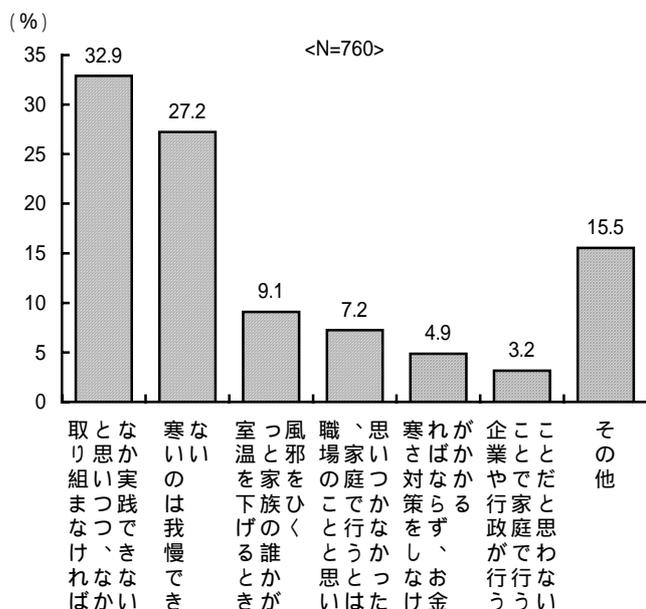
	サンプル数	上に重ね着をしている	厚手のものを着ている 下着を重ね着している	部屋のカーテンを厚いものに替えた	部屋の長いものに替えた カーテンを床まで	防熱ガラスに替えた	その他	特に何もしていない	* 何らかのことをしている
【地域】北海道・東北	97	80.4	43.3	8.2	9.3	-	15.5	3.1	96.9
関東	89	69.7	52.8	11.2	11.2	-	10.1	7.9	92.1
甲信越・北陸	92	78.3	53.3	8.7	12.0	1.1	17.4	4.3	95.7
東海	82	73.2	58.5	7.3	3.7	-	3.7	1.2	98.8
近畿	84	75.0	56.0	7.1	3.6	2.4	4.8	7.1	92.9
中国・四国	109	75.2	67.0	6.4	5.5	-	9.2	2.8	97.2
九州	87	83.9	55.2	13.8	10.3	-	10.3	3.4	96.6
【都市規模】東京都・政令指定都市	160	75.6	51.3	10.6	6.3	-	10.0	6.3	93.8
その他	480	76.9	56.7	8.3	8.5	0.6	10.4	3.5	96.5
【年代】20代	164	74.4	54.9	5.5	7.9	-	11.0	5.5	94.5
30代	154	77.3	56.5	7.8	8.4	-	11.0	5.2	94.8
40代	148	75.7	52.0	8.8	8.1	1.4	9.5	4.1	95.9
50代	174	78.7	57.5	13.2	7.5	0.6	9.8	2.3	97.7
【職業】正規有業主婦	88	72.7	58.0	10.2	8.0	1.1	5.7	3.4	96.6
非正規有業主婦	168	76.8	59.5	9.5	7.1	-	8.9	4.8	95.2
*有業主婦	256	75.4	59.0	9.8	7.4	0.4	7.8	4.3	95.7
専業主婦	384	77.3	52.9	8.3	8.3	0.5	12.0	4.2	95.8
【家族構成】夫婦のみ	145	79.3	53.8	8.3	8.3	-	11.0	4.8	95.2
夫婦と子供	366	76.8	54.6	9.3	8.7	0.5	10.1	4.4	95.6
3世代同居	80	67.5	60.0	7.5	5.0	1.3	6.3	3.8	96.3
その他	49	81.6	57.1	10.2	6.1	-	16.3	2.0	98.0
【中学生以下の子供】いる	312	75.3	53.5	6.4	7.7	0.3	9.9	5.1	94.9
いない	328	77.7	57.0	11.3	8.2	0.6	10.7	3.4	96.6
【寒さへの強さ】強い方	222	79.3	54.1	11.7	11.3	0.9	9.9	4.5	95.5
弱い方	418	75.1	56.0	7.4	6.2	0.2	10.5	4.1	95.9
【住宅構造】一戸建て	335	76.4	55.2	9.6	8.4	0.9	9.3	3.9	96.1
鉄筋集合住宅	265	75.5	55.5	9.1	7.5	-	10.6	4.9	95.1
木造集合住宅	40	85.0	55.0	2.5	7.5	-	17.5	2.5	97.5

- いずれの属性で見ても、大きな違いは見られません。なかでも住宅構造別に見ると、【木造集合住宅】は「上に重ね着している」(85.0%)がとりわけ多くなっています。

4. 家庭でのウォームビズを実践していない理由

「取り組まないといけないとわかっているがなかなか実践できない」(32.9%)と「寒いのは我慢できない」(27.2%)が多い。“わかっているがなかなかできない”というのが本音か。
 【木造集合住宅】は「寒いのは我慢できない」(34.7%)に集中。

図2 - 5. 家庭でのウォームビズを実践していない理由(実践していない人のみ)



一方、＜ウォームビズを特に実践していない＞と回答した人に対して、どうして実践しないのか、その理由を聞きました。

最も多いのは「取り組まないといけないとわかっているがなかなか実践できない」(32.9%)というもので、「寒いのは我慢できない」(27.2%)が続いています。上位の理由を見る限り、ウォームビズを否定的に捉えているというより、“わかっているが日々の生活となるとなかなか実行できない”というのが本音のようです。

そのほかの理由では「室温を下げるとうきと家族の誰かが風邪をひく」(9.1%)がやや目に付く程度で、いずれもさほど多くありません。

	サンプル数	取り組まなかなければできない	寒いのは我慢できない	室温を下げるときと家族の誰かが風邪をひく	職場のことは思い、家庭で行うとは思いつかなかった	寒さ対策をしなればなら	企業や行政が行うことではない	その他
【地域】北海道・東北	103	29.1	28.2	14.6	4.9	6.8	5.8	10.7
関 東	111	30.6	28.8	7.2	9.9	4.5	0.9	18.0
甲信越・北陸	108	23.1	34.3	8.3	13.9	8.3	1.9	10.2
東 海	118	39.0	27.1	6.8	7.6	2.5	1.7	15.3
近 畿	116	36.2	23.3	8.6	4.3	3.4	3.4	20.7
中国・四国	91	30.8	34.1	7.7	4.4	3.3	2.2	17.6
九 州	113	39.8	16.8	10.6	5.3	5.3	6.2	15.9
【都市規模】東京都・政令指定都市	192	34.4	28.1	8.9	6.3	3.6	4.2	14.6
その他	568	32.4	26.9	9.2	7.6	5.3	2.8	15.8
【年代】20 代	186	35.5	28.0	8.1	8.1	3.2	3.2	14.0
30 代	196	32.7	25.0	12.8	8.2	3.6	3.6	14.3
40 代	202	26.7	31.7	8.9	8.9	5.0	2.5	16.3
50 代	176	37.5	23.9	6.3	3.4	8.0	3.4	17.6
【職業】正規有業主婦	108	39.8	26.9	7.4	8.3	4.6	1.9	11.1
非正規有業主婦	201	32.3	25.9	7.0	11.4	7.0	3.5	12.9
*有業主婦	309	35.0	26.2	7.1	10.4	6.1	2.9	12.3
専業主婦	451	31.5	27.9	10.4	5.1	4.0	3.3	17.7
【家族構成】夫婦のみ	158	38.0	27.8	5.1	6.3	4.4	5.1	13.3
夫婦と子供	443	29.6	27.5	10.6	6.8	4.7	2.9	17.8
3世代同居	108	36.1	26.9	8.3	12.0	5.6	0.9	10.2
その他	51	39.2	23.5	9.8	3.9	5.9	3.9	13.7
【中学生以下の子供】い る	410	32.0	26.3	11.0	8.0	4.1	2.7	15.9
いない	350	34.0	28.3	6.9	6.3	5.7	3.7	15.1
【寒さへの強さ】強い方	219	35.6	12.3	9.1	7.8	6.4	3.7	25.1
弱い方	541	31.8	33.3	9.1	7.0	4.3	3.0	11.6
【住宅構造】一戸建て	433	32.6	29.3	9.2	6.9	4.8	3.2	13.9
鉄筋集合住宅	278	36.0	22.7	10.4	6.8	4.0	2.5	17.6
木造集合住宅	49	18.4	34.7	-	12.2	10.2	6.1	18.4

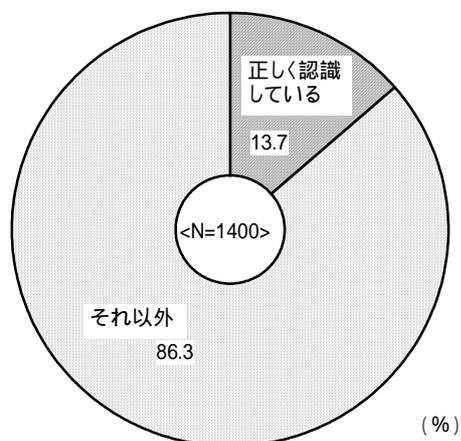
- 地域別に見ると、【甲信越・北陸】は「寒いのは我慢できない」(34.3%) が最も多く次いで「取り組まないといけないとわかっているがなかなか実践できない」(23.1%) の順となっています。
- 年代別に見ると、【40代】は「寒いのは我慢できない」(31.7%) が最も多く、その割合も他の年代を上回っています。
- 中学生以下の子どもの有無別に見ると、【いる人】は「室温を下げるときと家族の誰かが風邪をひく」(11.0%) が【いない人】(6.9%) を僅かに上回っています。

- 寒さへの強さ別に見ると、【寒さに弱い人】は「寒いのは我慢できない」(33.3%)が最も多く、【寒さに強い人】(12.3%)を大きく上回っています。
- 住宅構造別に見ると、【鉄筋集合住宅】や【一戸建て】は「取り組まないといけないとわかっているがなかなか実践できない」(36.0%、32.6%)が最も多くなっていますが、【木造集合住宅】は「寒いのは我慢できない」(34.7%)が最も多くそのほかの理由はさほど多くありません。

5. 環境省推奨の設定室温の認知

「20」と正しく認識しているのは僅か13.7%。

図2-6. 環境省が推奨している設定室温の認知



ウォームビズに関して環境省が室温を何度に設定するように推奨しているか知っているか、知っているという人は本当に正しく認識しているのか、その認知状況を聞いてみました。

まず、知っているかどうかでは「知っている」人は23.9%にとどまり、大半が「知らない」(76.1%)と答えています。さらに、知っている人に正しいと思う温度をあげてもらったところ、正答である「20」と回答した人はほぼその半数に過ぎず、正しく認識している人は13.7%という結果でした。

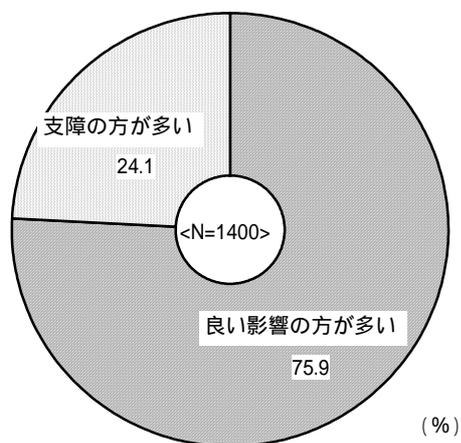
	サンプル数	知っている	知っている		知らない	正しく認識している	知らない+誤認
			20 (正)	誤認			
全 体	1400	23.9	57.3	42.7	76.1	13.7	86.3
【地域】北海道・東北	200	23.0	67.4	32.6	77.0	15.5	84.5
関 東	200	24.0	60.4	39.6	76.0	14.5	85.5
甲信越・北陸	200	23.5	53.2	46.8	76.5	12.5	87.5
東 海	200	20.0	52.5	47.5	80.0	10.5	89.5
近 畿	200	28.0	57.1	42.9	72.0	16.0	84.0
中国・四国	200	26.0	57.7	42.3	74.0	15.0	85.0
九 州	200	23.0	52.2	47.8	77.0	12.0	88.0
【都市規模】東京都・政令指定都市	352	21.9	66.2	33.8	78.1	14.5	85.5
その他	1048	24.6	54.7	45.3	75.4	13.5	86.5
【年代】20 代	350	22.9	66.3	33.8	77.1	15.1	84.9
30 代	350	24.9	55.2	44.8	75.1	13.7	86.3
40 代	350	26.3	62.0	38.0	73.7	16.3	83.7
50 代	350	21.7	44.7	55.3	78.3	9.7	90.3
【職業】正規有業主婦	196	31.1	50.8	49.2	68.9	15.8	84.2
非正規有業主婦	369	19.8	53.4	46.6	80.2	10.6	89.4
*有業主婦	565	23.7	52.2	47.8	76.3	12.4	87.6
専業主婦	835	24.1	60.7	39.3	75.9	14.6	85.4
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	640	27.2	59.2	40.8	72.8	16.1	83.9
実践していない	760	21.2	55.3	44.7	78.8	11.7	88.3

- いずれの属性で見てもほとんど同様の傾向を示していますが、年代別に見て【50代】は正しく認識している割合は9.7%にとどまっています。

6. 家庭でのウォームビズが生活に及ぼす影響

4人に3人が「良い影響の方が多い」(75.9%)と回答、「支障の方が多い」(24.1%)を大きく上回る。

図2 - 7. 家庭でのウォームビズが生活に及ぼす影響は良い影響と支障のどちらが多いと思うか



家庭でウォームビズを進めていくと生活のさまざまな場面でいろいろな影響を及ぼすことが考えられますが、良い影響と悪い影響(支障)のどちらが多くなると思うか聞いて見ました。

4人に3人が「良い影響の方が多い」(75.9%)と回答しており、「支障の方が多い」(24.1%)を大きく上回っています。

	サンプル数	良い影響の方が多い	支障の方が多い
【地域】北海道・東北	200	72.0	28.0
関東	200	79.0	21.0
甲信越・北陸	200	78.0	22.0
東海	200	78.5	21.5
近畿	200	71.0	29.0
中国・四国	200	76.0	24.0
九州	200	77.0	23.0
【都市規模】東京都・政令指定都市	352	74.4	25.6
その他	1048	76.4	23.6
【年代】20代	350	76.9	23.1
30代	350	74.0	26.0
40代	350	74.6	25.4
50代	350	78.3	21.7
【職業】正規有業主婦	196	76.5	23.5
非正規有業主婦	369	78.0	22.0
*有業主婦	565	77.5	22.5
専業主婦	835	74.9	25.1
【家族構成】夫婦のみ	303	78.9	21.1
夫婦と子供	809	75.5	24.5
3世代同居	188	75.0	25.0
その他	100	72.0	28.0
【中学生以下の子供】いる	722	74.4	25.6
いない	678	77.6	22.4
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	640	91.6	8.4
実践していない	760	62.8	37.2

- 家庭のウォームビズ実践度別に見ると、【実践していない人】は「支障の方が多い」(37.2%)が4割弱を示しており、【実践している人】(8.4%)を上回っている。
- そのほかの属性はいずれも「良い影響の方が多い」が断然多く、大きな違いは見られない。

7. ウォームビズが生活に及ぼす影響の内容

<良い影響>は「光熱費が節約できる」や「家族のコミュニケーションをとるきっかけになる」、<支障>は「家族の健康面での不安」などがあげられる。

(1)生活に及ぼす良い影響の内容

表2 - 1. 生活面でどのような良い影響を及ぼすと思うか(良い影響が多いと答えた人のみ N=1063)

順位	回答内容	人数
1	光熱費・暖房費が節約できる	727
2	1つの部屋で家族が一緒に過ごすようになり会話が増える	157
3	夜更かしをしなくなり規則正しい生活を送るようになる	45
4	抵抗力が付き体が丈夫になる	34
5	環境問題を考えるきっかけになる	28
6	部屋の空気が乾燥しなくなる(喉を痛めない・乾燥肌によい)	22
7	じっとしていると寒いので体を動かすようになる	19
8	外気との温度差が小さくなり健康を害しなくなる	18
9	節約する意識のきっかけになる	17
10	部屋の空気が汚れなくなる	11
"	省エネという共通の目標を持つことで家族にまとまりができる	11
12	家族と一緒に食事をするようになる	10
"	結露ができなくなる	10
14	子どもが外で遊ぶようになる、部屋に閉じこもることがなくなる、暖房機の前から動かないということがなくなる	9
"	夫婦が一緒に過ごすようになる	8
"	だらだらと過ごす時間が少なくなる	8
17	お風呂に一緒に入ることによってコミュニケーションが図れる	6
"	食事やお風呂が一度に片づくので家事が楽になる	6
"	室外と温度差がなくなり動くのがおっくうでなくなる	6
"	体が寒さに順応し健康ようになる	6
21	鍋料理が増えるため野菜を多くとるようになり栄養のバランスがとれる	5
22	部屋が寒いので健康に気をつけるようになり、その結果病気にかからなくなる	4
23	外と温度差がなくなり外出がおっくうということがなくなる	3
24	子どもに冬の寒さを感じさせることになる	2
"	頭がのぼせることがない	2
"	体は温めても頭は冷えているので頭の働きがよい	2
27	灯油を買いに行く手間が省ける	1
"	エアコンの室外機の音がしないので近所の迷惑にならない	1
"	寝る前の火の元の確認が楽	1
"	日中はカーテンを開け、日を入れるので部屋の環境によい	1
"	衣服に気をつけるようになる	1
"	不便な生活を我慢するという意識が芽生える	1

複数の影響をあげている人がいるため、回答の合計数は回答者数と一致しない。

生活面においてさまざまな影響を及ぼすことが考えられますが、良い影響としてどのような

ことがあるのか具体的にあげてもらったところ、「光熱費・暖房費が節約できる」(727件)が圧倒的でした。

次に、「1つの部屋で家族と一緒に過ごすようになり会話が増える」(157件)を始め、「省エネという共通の目標を持つことで家族にまとまりができる」(11件)「家族と一緒に食事をするようになる」(10件)「夫婦と一緒に過ごすようになる」(8件)「お風呂と一緒に入ることでコミュニケーションが図れる」(6件)など“家族のコミュニケーション”をはかる上で大いに効果があるとする指摘も非常に多くあげられています。

さらに、「夜更かしをしなくなり規則正しい生活を送るようになる」(45件)「だらだらと過ごす時間が少なくなる」(8件)など“規則正しい生活を送るようになる”といった内容が多くあげられていますが、それに加えて「食事を一緒にとるようになる」「お風呂と一緒に入るようになる」「お風呂に続けて入るようになる」ことで「食事やお風呂が一度に片づくので家事が楽になる」(6件)といった家事に追われる主婦ならではの効果もあげられています。

また、「抵抗力がつき体が丈夫になる」(34件)「外気との温度差が小さくなり健康を害しなくなる」(18件)「体が寒さに順応し健康になる」(6件)などの“健康に良い”といった内容もあります。

また、「部屋の空気が乾燥しなくなる」(22件)「部屋の空気が汚れなくなる」(11件)「結露ができなくなる」(10件)などの“部屋の空気環境の改善”につながるといった効果もあります。

さらに、「環境問題を考えるきっかけになる」(28件)「節約する意識のきっかけになる」(17件)といった“意識改革のきっかけになる”との指摘も多くあげられています。

そのほか、「じっとしていると寒いので体を動かすようになる」(19件)「室外と温度差がなくなり動くのがおっくうでなくなる」(6件)「外と温度差がなくなり外出がおっくうということがなくなる」(3件)などの“体を動かすようになる”もあげられています。

(2)生活に及ぼす支障の内容

表2 - 2 . 生活面でどのような支障を及ぼすと思うか(支障が多いと答えた人のみ N=337)

順位	回答内容	人数
1	厚着をすると動きにくくなる	46
2	家族が風邪をひきやすくなる	44
3	家族が風邪をひかないように気を遣うのが大変	43
4	衣料費がかかる	39
5	小さな子どもがいるので健康管理上無理	36
6	衣類を多く着ると洗濯物が増える	17
"	風邪をひいて医療費がかかってしまう	17
8	健康を害しそう	16
"	寒くて動くのがおっくうになる	16
10	寒くて生活できない、寒さに弱い(冷え性など)	15
11	老人がいるので健康管理上無理	13
12	寒冷地では無理	12
13	精神的にストレスになる	11
"	家族から不満が出る	11
15	いろいろなお金がかかる	7
"	寒くてゆっくりくつろげない	7
"	手足が冷える	7
18	肩こりがひどくなりそう	6
19	病人がいるので健康管理上無理	4
20	雪国は天候が悪く洗濯物を干すには暖房が欠かせない	3
"	面倒くさい	3
"	家自体を建て直さなくてはいけなくなる	3
23	持病が悪化しそう(関節痛)	2
24	部屋を閉め切るので換気が悪くなる	1
"	受験生がいるので健康管理上無理	1
"	水仕事の後暖かくしたい	1
"	子どもが朝起きなくなる	1
"	設定温度のことで子どもにいちいち口うるさくいうのがイヤ	1
"	寝相の悪い子が布団から飛び出して風邪をひきそう	1
"	子どもが湯冷めしてしまう	1

複数の支障をあげている人がいるため、回答の合計数は回答者数と一致しない。

一方、生活面に及ぼす悪い影響(支障)の方が多いと答えた人に、具体的にどのような支障が考えられるかあげてもらいました。

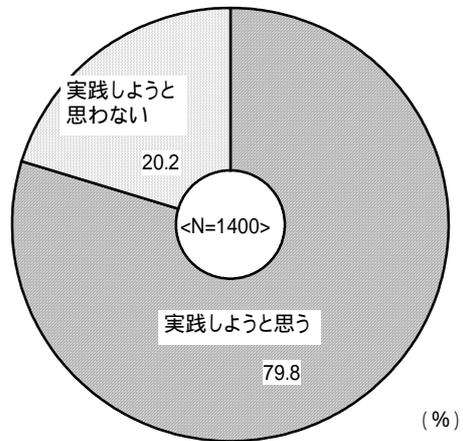
支障のなかで圧倒的に多いのは「家族が風邪をひきやすくなる」(44件)、「家族が風邪をひかないように気を遣うのが大変」(43件)、「小さな子どもがいるので健康管理上無理」(36件)、「風邪をひいて医療費がかかってしまう」(17件)、「健康を害しそう」(16件)、「老人がいるので健康管理上無理」(13件)、「肩こりがひどくなりそう」(6件)、「病人がいるので健康管理上無理」(4件)、「持病が悪化しそう(関節痛)」(2件)、「受験生がいるので健康管理上無理」(1件)など“家族の健康面での不安”です。

そのほか、「厚着をすると動きにくくなる」(46件)、「寒くて動くのがおっくうになる」(16件)といった“動きが鈍る”や、「衣料費がかかる」(39件)、「いろいろなお金がかかる」(7件)といった“家計面”、「衣類を多く着ると洗濯物が増える」(17件)の“余分な仕事が発生する”、さらに「寒冷地では無理」(12件)、「雪国は天候が悪く洗濯物を干すには暖房が欠かせない」(3件)といった“寒冷地特有の事情”などがあげられています。

8. 家庭でのウォームビズの実践意向

「実践しようと思う」(79.8%)が8割を占め、「実践しようと思わない」(20.2%)は2割。

図2 - 8. 家庭でのウォームビズを実践していこうと思うか



今後家庭でウォームビズを実践しようと思うかについて聞いてみたところ、ほぼ8割が「実践しようと思う」(79.8%)と回答し、「実践しようと思わない」(20.2%)を大きく上回りました。

	サンプル数	実践しようと思う	実践しようと思わない
【地域】北海道・東北	200	78.0	22.0
関東	200	82.0	18.0
甲信越・北陸	200	82.5	17.5
東海	200	77.0	23.0
近畿	200	76.0	24.0
中国・四国	200	82.0	18.0
九州	200	81.0	19.0
【都市規模】東京都・政令指定都市	352	77.8	22.2
その他	1048	80.4	19.6
【年代】20代	350	78.0	22.0
30代	350	77.4	22.6
40代	350	79.7	20.3
50代	350	84.0	16.0
【職業】正規有業主婦	196	79.1	20.9
非正規有業主婦	369	80.5	19.5
*有業主婦	565	80.0	20.0
専業主婦	835	79.6	20.4
【家族構成】夫婦のみ	303	81.2	18.8
夫婦と子供	809	79.1	20.9
3世代同居	188	79.8	20.2
その他	100	81.0	19.0
【中学生以下の子供】いる	722	78.3	21.7
いない	678	81.4	18.6
【寒さへの強さ】強い方	441	88.0	12.0
弱い方	959	76.0	24.0
【住宅構造】一戸建て	768	79.2	20.8
鉄筋集合住宅	543	81.4	18.6
木造集合住宅	89	75.3	24.7
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	640	97.7	2.3
実践していない	760	64.7	35.3

- いずれの属性でも同様の傾向を示しており大きな違いは見られませんが、なかでも年代別に見た【50代】と寒さへの強さ別に見た【寒さに強い人】は「実践しようと思う」(84.0%、88.0%)がとりわけ多くなっています。

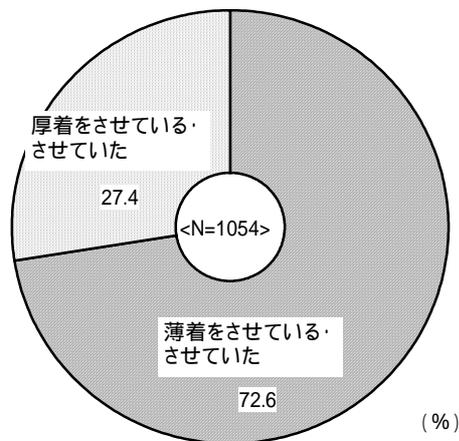
(3) 子どもの厚着・薄着(お子さんをお持ちの人のみ)

1. 子どもは厚着か薄着か

「薄着をさせている・させていた」(72.6%)が7割以上を占め、「厚着をさせている・させていた」(27.4件)を大きく上回る。

「厚着をさせている・させていた」は年代別に見て“若い人”、家族構成別に見て【3世代同居】にやや多い。

図3 - 1. 子どもは厚着か薄着か



中学生以下の子どもを持っているお母さんに<子どもに厚着をさせているか薄着をさせているか>を、また、高校生以上のお子さんを持っているお母さんには<子どもが小さかったころ厚着をさせていたか薄着をさせていたか>を聞きました。

「薄着をさせている・させていた」(72.6%)が7割以上を占め、「厚着をさせている・させていた」(27.4件)は3割を下回っています。

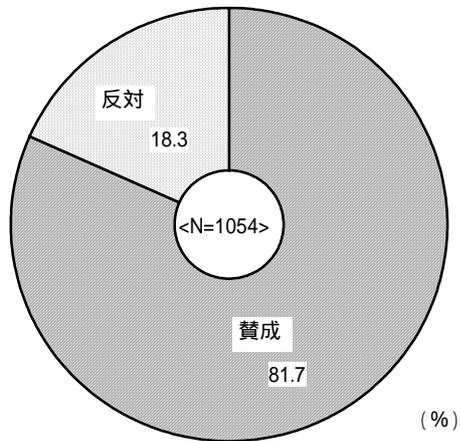
	サ ン プ ル 数	薄・ 着を させ てい た い る	厚・ 着を させ てい た い る
【地域】北海道・東北	143	74.8	25.2
関 東	140	77.9	22.1
甲信越・北陸	146	75.3	24.7
東 海	159	67.3	32.7
近 畿	158	76.6	23.4
中国・四国	159	71.1	28.9
九 州	149	65.8	34.2
【都市規模】東京都・政令指定都市	260	73.1	26.9
その他	794	72.4	27.6
【年代】20 代	240	61.7	38.3
30 代	267	67.0	33.0
40 代	292	80.5	19.5
50 代	255	79.6	20.4
【家族構成】夫婦のみ	-	-	-
夫婦と子供	809	73.4	26.6
3世代同居	188	68.1	31.9
その他	57	75.4	24.6
【寒さへの強さ】強い方	350	81.7	18.3
弱い方	704	68.0	32.0
【住宅構造】一戸建て	627	74.5	25.5
鉄筋集合住宅	370	69.5	30.5
木造集合住宅	57	71.9	28.1
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	473	71.7	28.3
実践していない	581	73.3	26.7

- 地域別に見ると、【九州・沖縄】は「厚着をさせている・させていた」(34.2%)が他の地域を上回っています。
- 年代別に見ると、【20代】は「厚着をさせている・させていた」が38.3%、【30代】は33.0%を示しているのに対して、【40代】【50代】はいずれも2割前後にとどまっており、若い人ほど「厚着をさせている・させていた」が多い傾向を示しています。
- 家族構成別に見ると、【3世代同居】は「厚着をさせている・させていた」(31.9%)が他の層を僅かながら上回っています。
- 寒さへの強さ別に見ると、【寒さに弱い人】は「厚着をさせている・させていた」(32.0%)が3割を超え【寒さに強い人】(18.3%)を上回っています。

2. 子どもの薄着教育に対する賛否

8割以上が「賛成」(81.7%)とし、「反対」(18.3%)は2割弱。

図3 - 2. 子どもの薄着教育に賛成か反対か



さらに、子どもの薄着教育に賛成か反対かについても聞いてみました。

8割以上が「賛成」(81.7%)としており、「反対」(18.3%)は2割弱にとどまっています。

	サ ン プ ル 数	賛 成	反 対
【地域】北海道・東北	143	80.4	19.6
関 東	140	85.7	14.3
甲信越・北陸	146	84.9	15.1
東 海	159	82.4	17.6
近 畿	158	79.7	20.3
中国・四国	159	80.5	19.5
九 州	149	78.5	21.5
【都市規模】東京都・政令指定都市	260	82.7	17.3
その他	794	81.4	18.6
【年代】20 代	240	76.7	23.3
30 代	267	76.8	23.2
40 代	292	85.3	14.7
50 代	255	87.5	12.5
【家族構成】夫婦のみ	-	-	-
夫婦と子供	809	81.8	18.2
3世代同居	188	78.7	21.3
その他	57	89.5	10.5
【中学生以下の子供】い る	722	78.4	21.6
いない	332	88.9	11.1
【寒さへの強さ】強い方	350	88.3	11.7
弱い方	704	78.4	21.6
【住宅構造】一戸建て	627	82.8	17.2
鉄筋集合住宅	370	80.3	19.7
木造集合住宅	57	78.9	21.1
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	473	80.8	19.2
実践していない	581	82.4	17.6
【家庭ウォームビズ実践意向】実践意向あり	836	83.5	16.5
実践意向なし	218	74.8	25.2

- 全般的にいずれの属性でも「賛成」が断然多くなっていますが、【現在中学生以下の子どもを育てている最中の人】、年代で言えば【20代】【30代】や、【寒さに弱い人】、【木造集合住宅】に居住している人は「反対」の割合が他の層よりやや多くなっています。

3. 子どもの薄着教育に賛成の理由と反対の理由

<賛成理由>は「健康になる」「動きやすい」、<反対理由>は「体質に個人差があるから画一的に言うべきではない」「風邪をひかせては仕方がない」など。

(1) 子どもの薄着教育に賛成の理由

表2 - 1. 子どもの薄着教育に賛成の理由(賛成と答えた人のみ N=861)

順位	回答内容	人数
1	健康になる・丈夫になる	261
2	動きやすい	113
3	抵抗力がつく・免疫力がつく	102
4	風邪に負けない体になる	96
5	寒さに強くなる	52
6	皮膚が強くなる	46
7	体温の調節機能が高まる	39
8	厚着だと汗をかいて、汗が冷えて風邪をひく	27
"	子どもは体温が高いので寒くない	27
10	子どもはいつも動いているので薄着でちょうどよい	23
11	体が鍛えられる	21
12	環境の変化に対応できる体になる	17
13	体力がつく	12
14	小さい頃からの習慣のもの	9
15	子どもは風の子	7
"	我慢強くなる・精神面が強くなる	7
17	うちの子どもはもともと暑がり	6
"	冬の寒さを肌で感じさせることが必要	6
"	自律神経を活発にする	6
"	子どもは新陳代謝が活発だからちょうどよい	6
21	子どもには順応性がある	4
"	体によい	4
"	厚着だと動かなくなる・家に閉じこもるようになる	4
"	新陳代謝を活発にする	4
25	アトピーには薄着の方がよい	3
"	自分も薄着で育った	3
27	最近の子は気温の変化に鈍くなっている(季節感がなくなっている)	2
"	洗濯物が減る	2
29	寒がりにならなくなる	1
"	子どもには我慢させることが必要	1

複数の理由をあげている人がいるため、回答の合計数は回答者数と一致しない。

子どもの<薄着教育に賛成>と答えた人に、賛成する理由を自由にあげてもらいました。最も多いのは「健康になる・丈夫になる」(261件)、「抵抗力がつく・免疫力がつく」(102件)、「風邪に負けない体になる」(96件)、「寒さに強くなる」(52件)、「皮膚が強くなる」(46件)。

「体温の調節機能が高まる」(39件)、「体が鍛えられる」(21件)、「環境の変化に対応できる体になる」(17件)、「体力がつく」(12件)、「自律神経を活発にする」(6件)、「体によい」(4件)、「新陳代謝を活発にする」(4件)、「アトピーには薄着の方がよい」(3件)など“肉体的な健康強化”です。また、「我慢強くなる・精神面が強くなる」(7件)、「子どもには我慢させることが必要」(1件)といった“精神面の強化”もあげられています。

次に「動きやすい」(113件)、「厚着だと動かなくなる」(4件)の“子どもの行動面”が多くあげられています。

また、「子どもは体温が高いので寒くない」(27件)、「子どもはいつも動いているので薄着でちょうど良い」(23件)、「子どもは新陳代謝が活発だからちょうどよい」(6件)、「子どもには順応性がある」(4件)と、“寒くても心配は無用”といった内容もあげられています。

そのほか、「厚着だと汗をかいて、汗が冷えて風邪をひく」(27件)、「寒さを肌で感じさせることが必要」(6件)、「気温の変化に鈍くなっている」(2件)などがあげられています

(2)子どもの薄着教育に反対の理由

表2 - 2 . 子どもの薄着教育に反対の理由(反対と答えた人のみ N=193)

順位	回答内容	人数
1	子ども一人ひとり体調や体質が異なるのだから画一的に言うべきではない	38
2	風邪をひいてしまう	36
3	風邪をひきそう	13
4	寒いなか無理に我慢させる必要はない	9
5	うちの子は風邪をひきやすいので無理	8
6	うちの子はまだ小さいので無理	7
"	寒い地域なので無理	7
"	寒さの感じ方には個人差がある	7
9	寒そうな格好で震えている子を見ていると痛々しい	6
10	寒さに応じた服装をさせればよい	5
"	子どもの状態に応じて着せればよい	5
"	体は温める方がよい。冷えは将来体に悪い影響を与える(冷え性)	5
"	薄着でいることが健康によいとは思えない。そう考える根拠が理解できない	5
14	うちの子は喘息の持病があるので無理	4
"	子ども一人ひとりの体調を見定めた上でないといけない	4
"	うちの子は寒がりなので無理	4
"	寒いのにかわいそう	4
18	逆に健康を害しそう	3
"	寒さに強いこと弱い子がいる	3
"	暑くなれば服を脱げばいいだけのこと	3
21	子どもは体温調節が大人のようにうまくできない	2
"	寒くて暖房をつけることになる	2
23	家に閉じこもってしまうことになる	1
"	寒暖は衣類で調節するのがよい	1
"	自分自身が薄着教育で辛かった	1
"	子どもは自分で服装を加減することはできない	1
"	寒くて勉強に集中できなくなる	1

複数の理由をあげている人がいるため、回答の合計数は回答者数と一致しない。

一方、<薄着教育に反対>と答えた人にも、反対する理由を自由にあげてもらいました。

最も多いのは「子ども一人ひとり体調や体質が異なるのだから画一的に言うべきではない」(38件)、「うちの子は風邪をひきやすいので無理」(8件)、「寒さの感じ方には個人差がある」(7件)、「うちの子は喘息の持病があるので無理」(4件)、「子ども一人ひとりの体調を見定めた上でないといけない」(4件)、「寒さに強いこと弱い子がいる」(3件)など“体質に個人差があるから画一的に言うべきではない”ということです。

次いで多いのは「風邪をひいてしまう」(36件)、「風邪をひきそう」(13件)といった“風邪をひかせては仕方がない”というものです。

そのほか、「寒いなか無理に我慢させる必要はない」(9件)、「寒そうな格好で震えている子を見ると痛々しい」(6件)、「寒いのにかわいそう」(4件)などの“無理をさせることはない”

や、「寒さに応じた服装をさせればよい」、「子どもの状態に応じて着せればよい」(各5件)などの“状況に応じて着せるのがよい”といった内容もあげられています。

また、「体は温める方がよい。冷えは将来冷え性など体に悪い影響を与える」、「薄着でいることが健康によいとは思えない。そう考える根拠が理解できない」(各5件)、「逆に健康を害しそう」(3件)といった“薄着教育そのものに疑問を感じる”といった内容も少なくありません。

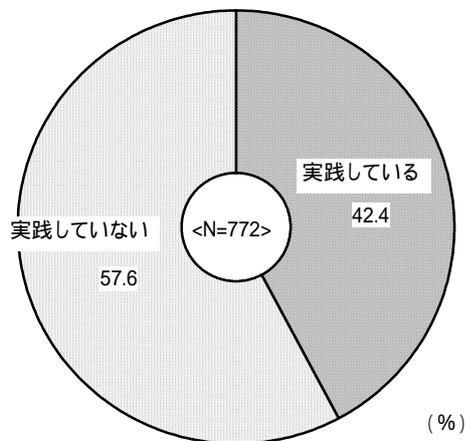
〔4〕主婦の立場で見るオフィスのウォームビズ

夫が温度調節可能なオフィスで働いている人が対象。回答者が有業主婦の場合は自分自身のことも含めて回答していただいた。

1. オフィスでのウォームビズ実践度

「実践している」(42.4%)は4割強で、半数以上は「実践していない」(57.6%)。地域別では【北海道・東北】と【甲信越・北陸】、都市規模別では【東京都・政令指定都市】、年代別では“若い人”の実施率が低い。

図4 - 1. オフィスでウォームビズを実践しているか



ご主人は、奥さまが有業の場合は奥さま自身も含めて、オフィスでウォームビズを実践しているかを聞きました。

「実践している」(42.4%)は4割強で、半数以上は「実践していない」(57.6%)と回答しています。

	サンプル数	実践している	実践していない
【地域】北海道・東北	114	37.7	62.3
関 東	100	44.0	56.0
甲信越・北陸	118	39.0	61.0
東 海	110	45.5	54.5
近 畿	118	44.9	55.1
中国・四国	105	44.8	55.2
九 州	107	41.1	58.9
【都市規模】東京都・政令指定都市	195	34.9	65.1
その他	577	44.9	55.1
【年代】20 代	168	28.0	72.0
30 代	177	33.3	66.7
40 代	207	50.2	49.8
50 代	220	53.2	46.8
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	368	50.3	49.7
実践していない	404	35.1	64.9

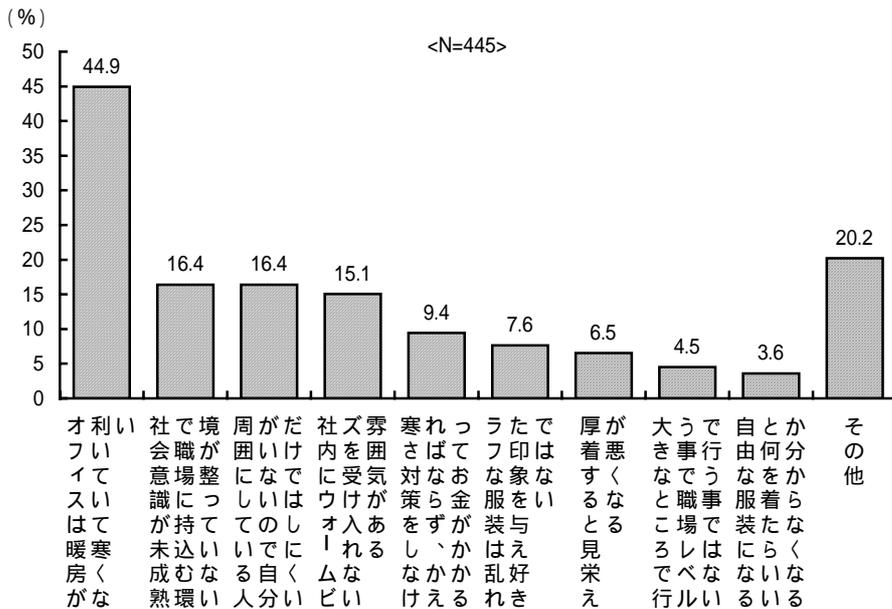
- 地域別に見ると、【北海道・東北】と【甲信越・北陸】は「実践している」(37.7%、39.0%)の割合が他の地域に比べてやや低くなっています。
- 都市規模別に見ると、【東京都・政令指定都市】は「実践している」(34.9%)が3割強にとどまり、【それ以外の都市】(44.9%)を下回っています。
- 年代別に見ると、「実践している」の割合は【50代】では53.2%、【40代】では50.2%と半数を超えていますが、【30代】は33.3%、【20代】は28.0%と、“若い人”ほど低くなっています。
- 家庭のウォームビズ実践度別に見ると、【実践している人】は「実践している」(50.3%)が半数を占めていますが、【実践していない人】(35.1%)では3割強にとどまっています。

2. オフィスでウォームビズを実践していない理由

「オフィスは暖房が利いていて寒くない」(44.9%) が最も多く、以下「取引先など社会の意識が未成熟」、「周囲にしている人がいない」、「社内に受け入れない雰囲気がある」の“しにくい雰囲気がある”が続く。

【近畿】【中国・四国】【九州・沖縄】は「取引先など社会の意識が未成熟」(26.2%、25.9%、20.6%) が他の地域よりやや多い。

図4 - 2. オフィスでどうしてウォームビズをしていないのか【3つまで】



さらに、オフィスでウォームビズを実践していないと回答した人に、なぜ実践しないのかその理由をあげてもらいました。

最も多いのは「オフィスは暖房が利いていて寒くない」(44.9%) で半数近くがあげています。温度設定を下げているオフィスが多いようです。

以下、「取引先など社会のウォームビズに対する意識が未成熟で仕事の場に持ち込む環境が整っていない」、「周囲にウォームビズをしている人がいないので自分だけではしにくい」(各16.4%)、「社内にウォームビズを受け入れない雰囲気がある」(15.1%) の“実践しにくい雰囲気がある”という内容が続いています。

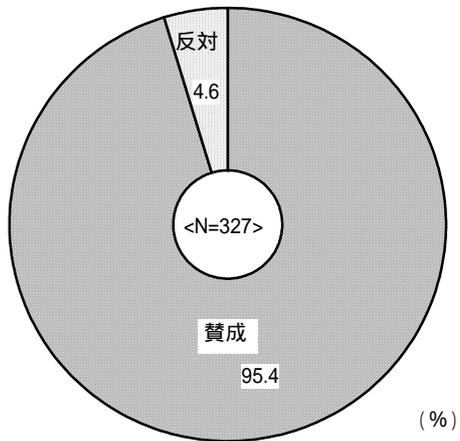
	サンプル数	オフィスは暖房が利いていない	社会意識が未成熟で職場に不慣れ	周囲に自分だけではない人がいない	周囲に自分だけではない人がいない	社内にはウォームビズがある	寒さ対策をしなければならぬ	ラフな服装は乱れた印象を	与え好きではない	厚着すると見栄えが悪くなる	大きなところで働く事ではない	自由な服装になると何着	その他
【地域】北海道・東北	71	35.2	12.7	18.3	19.7	12.7	2.8	8.5	4.2	1.4	25.4		
関東	56	58.9	5.4	16.1	17.9	5.4	8.9	3.6	-	-	14.3		
甲信越・北陸	72	45.8	9.7	18.1	9.7	6.9	2.8	4.2	4.2	25.0			
東海	60	53.3	15.0	11.7	10.0	6.7	8.3	11.7	5.0	5.0	21.7		
近畿	65	36.9	26.2	12.3	16.9	10.8	7.7	9.2	9.2	6.2	18.5		
中国・四国	58	53.4	25.9	20.7	13.8	12.1	8.6	1.7	6.9	5.2	19.0		
九州	63	34.9	20.6	17.5	17.5	7.9	11.1	7.9	1.6	3.2	15.9		
【都市規模】東京都・政令指定都市	127	44.1	13.4	18.9	13.4	7.9	7.9	4.7	5.5	5.5	23.6		
その他	318	45.3	17.6	15.4	15.7	10.1	7.5	7.2	4.1	2.8	18.9		
【年代】20代	121	47.9	13.2	14.9	18.2	7.4	8.3	7.4	4.1	1.7	18.2		
30代	118	45.8	21.2	14.4	14.4	10.2	7.6	5.9	5.9	4.2	20.3		
40代	103	38.8	13.6	23.3	11.7	11.7	6.8	7.8	3.9	3.9	20.4		
50代	103	46.6	17.5	13.6	15.5	8.7	7.8	4.9	3.9	4.9	22.3		
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	183	50.3	21.3	17.5	17.5	8.7	8.2	7.1	4.4	3.8	18.6		
実践していない	262	41.2	13.0	15.6	13.4	9.9	7.3	6.1	4.6	3.4	21.4		

- 地域別に見ると、【近畿】、【中国・四国】、【九州・沖縄】は「取引先など社会の意識が未成熟で仕事の場に持ち込む環境が整っていない」（26.2%、25.9%、20.6%）が他の地域を上回っています。
- 年代別に見ると、【40代】は「周囲にウォームビズをしている人がいないので自分だけではないにくい」（23.3%）が他の年代より僅かに多くなっています。

3. 主婦の立場からのオフィスでのウォームビズの賛否

「賛成」(95.4%)が圧倒的に多く、「反対」(4.6%)はごく僅か。

図4 - 3 . 主婦の立場からオフィスでのウォームビズに賛成か反対か



ご主人がオフィスでウォームビズを実践していくことについて、奥さまとしては賛成か反対かを聞きました。

その結果、「賛成」(95.4%)が圧倒的に多く、「反対」(4.6%)はごく僅かです。

	サ ン プ ル 数	賛 成	反 対
【地域】北海道・東北	43	95.3	4.7
関 東	44	100.0	-
甲信越・北陸	46	93.5	6.5
東 海	50	90.0	10.0
近 畿	53	100.0	-
中国・四国	47	93.6	6.4
九 州	44	95.5	4.5
【都市規模】東京都・政令指定都市	68	92.6	7.4
その他	259	96.1	3.9
【年代】20 代	47	97.9	2.1
30 代	59	91.5	8.5
40 代	104	93.3	6.7
50 代	117	98.3	1.7
【職業】正規有業主婦	51	90.2	9.8
非正規有業主婦	91	96.7	3.3
*有業主婦	142	94.4	5.6
専業主婦	185	96.2	3.8
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	185	97.3	2.7
実践していない	142	93.0	7.0

- いずれの属性で見ても「賛成」が圧倒的となっています。

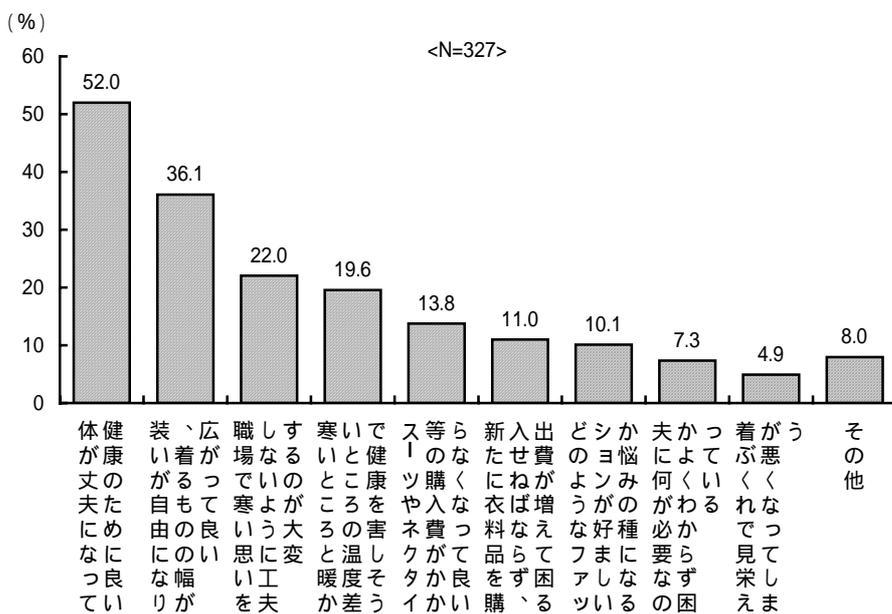
4. 主婦の立場からのオフィスのウォームビズに対する見方

「体が丈夫になって健康のためによい」(52.0%)、「着るものの幅が広がって良い」(36.1%)の好意的な内容が上位を占めるが、「寒い思いをしないように工夫するのが大変」(22.0%)、「寒いところと暖かいところの温度差で健康を害しそう」(19.6%)といった“夫の健康を気遣う妻の悩み”もあげられている。

【関東】は「体が丈夫になって健康のためによい」(63.6%)、「着るものの幅が広がって良い」(47.7%)が特に多い。

自分自身も職業を持つ【正規有業主婦】は「職場で寒い思いをしないように工夫するのが大変」(31.4%)が他の層を上回る。

図4 - 4. 主婦の立場からオフィスのウォームビズをどう見ているか【複数回答】



夫がオフィスでウォームビズを実践すれば主婦に対してもさまざまな面で影響が及んでくるものと思われます。もろもろの事情を踏まえながら、主婦の立場からオフィスでの夫のウォームビズをどのように見ているのでしょうか。

最も多いのは「体が丈夫になって健康のためによい」(52.0%)で、次いで「いろいろな装いが自由にできるようになり着るものの幅が広がって良い」(36.1%)と、好意的に捉えている内容が上位を占めています。

その一方で、「職場で寒い思いをしないように工夫するのが大変である」(22.0%)や「設定温度を下げているところと暖かくしているところとの温度差で健康を害しそう」(19.6%)といった“夫の健康を気遣う妻の悩み”も少なくありません。

	サンプル数	体が丈夫になって健康のため	装いの幅が広がって良い	職場で寒い思いをしないように工夫するのが大変	寒いところと暖かいところ	温度差で健康を害しそう	スリッパやネクタイ等の購入	費がかからなくなつて良い	新たに衣料品を購入させてねば	ならす、出費が増え困る	どまじいかなアツシヨンになる	好ましくないアツシヨンになる	夫に何が必要なのかよくわ	からず困っているのかよくわ	着ぶくれで見栄えが悪くな	つてしま	その他
【地域】北海道・東北	43	53.5	39.5	20.9	25.6	9.3	14.0	7.0	4.7	4.7	14.0						
関東	44	63.6	47.7	4.5	15.9	15.9	9.1	13.6	6.8	4.5	2.3						
甲信越・北陸	46	41.3	32.6	30.4	21.7	19.6	19.6	10.9	6.5	2.2	4.3						
東海	50	58.0	36.0	28.0	12.0	10.0	16.0	6.0	2.0	4.0	10.0						
近畿	53	50.9	34.0	17.0	24.5	15.1	1.9	17.0	9.4	1.9	5.7						
中国・四国	47	44.7	34.0	23.4	25.5	8.5	10.6	6.4	8.5	10.6	12.8						
九州	44	52.3	29.5	29.5	11.4	18.2	6.8	9.1	13.6	6.8	6.8						
【都市規模】東京都・政令指定都市	68	51.5	44.1	26.5	25.0	7.4	11.8	7.4	2.9	5.9	7.4						
その他	259	52.1	34.0	20.8	18.1	15.4	10.8	10.8	8.5	4.6	8.1						
【年代】20代	47	59.6	34.0	23.4	23.4	19.1	25.5	12.8	10.6	6.4	10.6						
30代	59	55.9	37.3	35.6	20.3	15.3	6.8	5.1	3.4	1.7	5.1						
40代	104	44.2	28.8	18.3	17.3	11.5	11.5	11.5	9.6	2.9	8.7						
50代	117	53.8	42.7	17.9	19.7	12.8	6.8	10.3	6.0	7.7	7.7						
【職業】正規有業主婦	51	47.1	35.3	31.4	17.6	13.7	7.8	9.8	5.9	7.8	2.0						
非正規有業主婦	91	53.8	36.3	19.8	18.7	16.5	11.0	6.6	3.3	5.5	4.4						
*有業主婦	142	51.4	35.9	23.9	18.3	15.5	9.9	7.7	4.2	6.3	3.5						
専業主婦	185	52.4	36.2	20.5	20.5	12.4	11.9	11.9	9.7	3.8	11.4						
【家庭ウォームビズ実践度】実践している	185	56.8	38.9	20.0	19.5	14.6	10.8	11.9	4.3	6.5	9.2						
実践していない	142	45.8	32.4	24.6	19.7	12.7	11.3	7.7	11.3	2.8	6.3						

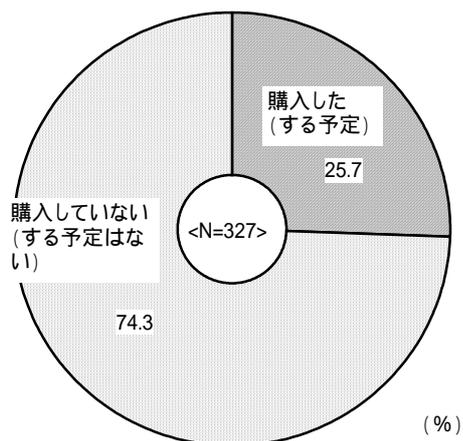
- 地域別に見ると、【関東】は「体が丈夫になって健康のためにより」（63.6%）、「着るものの幅が広がって良い」（47.7%）との好意的な見方が他の地域よりも多くあげられています。一方、【甲信越・北陸】は「体が丈夫になって健康のためにより」（41.3%）が他の地域より少なく、逆に「職場で寒い思いをしないように工夫するのが大変」（30.4%）が他の地域を上回っています。
- 都市規模別に見ると、【東京都・政令指定都市】は「着るものの幅が広がって良い」（44.1%）が【それ以外の都市】（34.0%）を上回っています。
- 年代別に見ると、【50代】は「着るものの幅が広がって良い」（42.7%）が他の年代を上回っています。
- 職業別に見ると、【正規有業主婦】は「職場で寒い思いをしないように工夫するのが大変」（31.4%）が他の層を上回っています。これは自分自身のことを思ってあげているのかもしれませんが。
- 家庭のウォームビズ実践度別に見ると、【実践している人】は「体が丈夫になって健康のためにより」（56.8%）が【実践していない人】（45.8%）を上回っており、健康に対して前向きに捉えているようです。

5. オフィスのウォームビズ関連で購入したもの・購入予定のものの有無

「購入した(する予定)」(25.7%)は4人に1人の割合で、「購入していない(する予定はない)」(74.3%)が多い。

【東海】は「購入した(する予定)」(32.0%)が他の地域を上回っているのに対し、【中国・四国】(14.9%)はとりわけ少ない。

図4 - 5. オフィスのウォームビズに関連して購入したもの・購入する予定のものの有無



オフィスでのウォームビズに備えて購入したものやこれから購入する予定のものがあるか聞きました。

「購入していない(する予定はない)」(74.3%)が圧倒的に多く、「購入した(する予定)」(25.7%)は4人に1人の割合にとどまっています。

	サンプル数	購入した (する予 定)	購入する予 定はない (い)
【地域】北海道・東北	43	30.2	69.8
関東	44	22.7	77.3
甲信越・北陸	46	28.3	71.7
東海	50	32.0	68.0
近畿	53	22.6	77.4
中国・四国	47	14.9	85.1
九州	44	29.5	70.5
【都市規模】東京都・政令指定都市	68	25.0	75.0
その他	259	25.9	74.1
【年代】20代	47	29.8	70.2
30代	59	27.1	72.9
40代	104	24.0	76.0
50代	117	24.8	75.2
【職業】正規有業主婦	51	15.7	84.3
非正規有業主婦	91	23.1	76.9
*有業主婦	142	20.4	79.6
専業主婦	185	29.7	70.3
【寒さへの強さ】強い方	132	23.5	76.5
弱い方	195	27.2	72.8

- 地域別に見ると、【東海】は「購入した(する予定)」(32.0%)が他の地域より僅かに多いのに対して、【中国・四国】(14.9%)は大きく下回っています。
- 職業別に見ると、【正規有業主婦】は「購入した(する予定)」(15.7%)が【非正規有業主婦】(23.1%)や【専業主婦】(29.7%)を下回っています。

6. オフィスのウォームビズ関連で購入したもの・購入する予定のもの(購入者・購入予定者のみ)

「下着」(43件)が最も多く、「ベスト」(22件)、「カーディガン」(16件)、「セーター」(12件)が続く。衣料品以外では「使い捨てカイロ」(4件)があげられている。

表4 - 1. オフィスのウォームビズに関連して購入したもの・購入する予定のもの(N=84)

順位	品目	人数	順位	品目	人数
1	下着	43	8	レッグウォーマー	3
2	ベスト	22	12	ズボン	2
3	カーディガン	16	"	フリース	2
4	セーター	12	"	マフラー	2
5	靴下	5	"	半纏	2
6	使い捨てカイロ	4	16	コート	1
"	膝掛け	4	"	スパッツ	1
8	ジャケット	3	"	腹巻き	1
"	ズボン下	3	"	薄手の防寒着	1
"	タイツ	3	"	洋服	1

複数のアイテムをあげている人がいるため、アイテムの合計数は回答者数と一致しない。

オフィスでのウォームビズに備えて購入した、購入する予定があると答えた人に、何を購入したのか、または何を購入する予定なのか、具体的に品目をあげてもらいました。

最も多いのは「下着」(43件)で、回答者の半数以上があげています。次いで多いのが「ベスト」(22件)で、以下「カーディガン」(16件)、「セーター」(12件)が続いています。

そのほかにもさまざまな衣料品があげられていますが、衣料品以外では「使い捨てカイロ」(4件)があげられています。